

# 太田東西かわら版

2019.10

## “修身”の意識



写真は8月に講演会をご一緒した大山神父の黒島天主堂です。  
目下、修復工事中で足場が組み立てられています、その前に立つのは今年年女のAさん。

Aさんは大病をきっかけに太田東西薬局に真面目に通っています。  
「どうして自分が命に係わる病気をしたのか？ 病を根本から治すにはどうしたらいいのか？」  
それを学んで、講演会など薬局のイベントにも全出席。  
しかし、その知識をベースにした「行動」がなかなか伴いません。

その行動とは、家族から距離を置いて自己実現を目指す。すなわち「自立」。親元を離れたことがないこれまでの人生は、親きょうだいや家業への執着となり家族とのストレスが増えることになっていた。結婚もしたい気持ちはあるけれど今までの生活が変わることをどこかで恐れる。それが“消極的婚活”になっている。

まずは親元から離れる経験をたくさん積むこと。それが新しい自分の人脈や生きがいを生み出すことになり、ひいては病気の予防につながる。頭では理解できている。実際、それを意識して漢方を服用して治った。だけど行動に移すとなると、二の足を踏んでしまう・・・

なぜか？

「怖い」からだ。

変わることが怖いから、「変わらないストレス」を無意識に選んでしまう。結果、新しい行動ができないから、何も変わらない。

そんなAさんとの面談中、私は唐突に電話を取りダイヤルしました。

「Aさんという先のイベントにも参加された薬局のお客様ですが、今年どうしても変わりたい！という希望を強く持っていますので、数日預かってもらえますか？」電話の相手は大山神父。結果、“YES！”

「大山神父さまがOK！と言ってくださっているから、黒島に一人旅しなさい。陸続きではない“島”というのがポイント。フェリーでしか帰れないからね。そして信号機もない島。日々の喧騒を離れて、自然の中に身を投じて、ゆっくりと自分を見つめ直して来なさい。そして大山神父のお話を拝聴しておいで」

なんという強引な太田東西でしょう！（笑）

しかしAさんは、素直に従って黒島一人旅を決意したのでした！

見知らぬ土地。見知らぬ人たち。初めての民宿。一人での食事と就寝。

初日は涙が止めどなくあふれたそう。いかに自分がこの年まで親に庇護してもらっていたのか？心から痛感した。それなのに親に文句ばかり言っていた。感謝が足りない自分を恥じ、反省した。

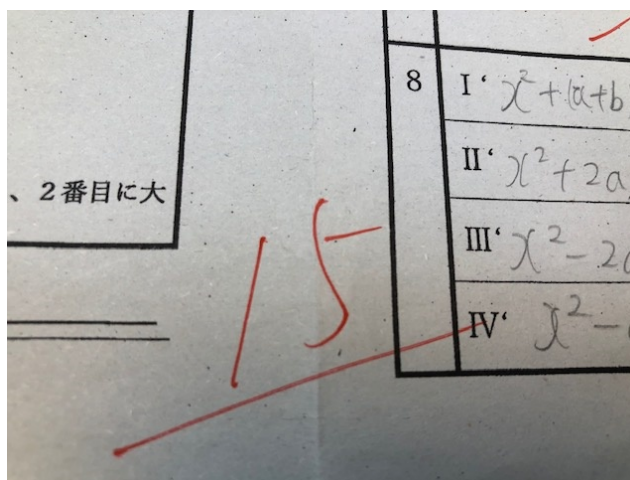


翌日からは大山神父と魚釣りをして教会の方々と夕飯もご一緒したそう。

そして帰る日には黒島一人旅を満喫している自分がいました。

話変わって・・・

中学3年生のS君の受験勉強を、毎週日曜日に見てあげています。  
夏休みには学習塾の夏期講座にも毎日通うなど、S君は頑張りました。  
その結果、夏休み明けの実力試験は



もちろん、100点満点での“15点”です。(^^)

私はS君に尋ねました。

「頑張った結果の15点なのか、それとも頑張らなかった結果なのか、どっち？」  
S君は答えました。「頑張りました」。

「頑張った結果の15点なら、もう志望校はあきらめたほうがいいね。ところで何に頑張ったのかい？」と再び尋ねると、「薬局にも毎週通ったし、平日は塾にも毎日行きました」との返答。

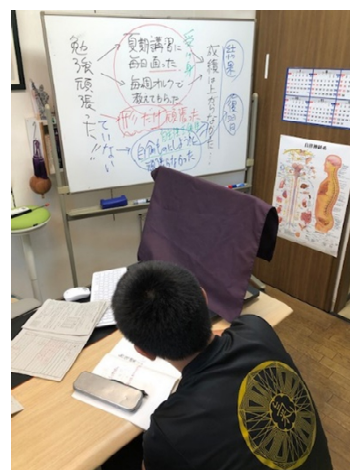
S君は薬局や塾に真面目に通ったことを「自分は頑張った」と思っていました。  
成績が伴わなかった原因は、まさにそこです！

通ったという「形式」に頑張っただけで、「中身」がない。  
形式に満足してしまって、習った内容を「自分の中にしっかりと修めよう」という意識や行動が伴っていない。それが15点という結果を生み出した。

太田東西オチコボレ塾（オルク）のモットーは  
学校の勉強よりも、「人生勉強」！！“  
希望する成績と結果を得るには、まずは  
中身の「意識改革」が必要。

板書して、意識改革の必要性を  
わかりやすく講義しました。

「修身の意識」を芽生えさせるために。



「修身」とは、習ったこと・学んだことを自分の身に修めていくことです。

AさんもS君も、習っただけ学んだだけで、身に修めていない。

だから、理想とする結果がなかなか得られない。

太田先生の言うことは真面目に聞く。真面目に薬局に通って、きちんと漢方も飲む。しかしそれだけで「修身」したことにはならないのです。

病気を治すために多くの人は、病院に通って、医師の検査を受け、診断を仰ぎ薬を処方してもらって真面目に服用すれば治ると考えています。

しかし現実には患者は増加の一途。病院は朝から満員御礼。

なぜか？

皆、通院という形式だけに捉われて、「**どうして自分がこの病気になったのか？**」その改善を自ら修身していく（考え修めていく）意識がないからです。

太田東西薬局は漢方を処方するだけではなく、まさにそれを教える場所なのですが健康を早く回復する人、健康相談から人生相談になって自己実現の人生を歩む人たちに共通しているのは、「修身の意識」があることです。

習ったこと教わったことを、忘れないうちにしっかりノートに書き留めて、何度も振り返って読み返す。そうやって「自分のもの」に修めていく。

いわゆる「復習」の習慣であり、「**修身＝復習の連続**」と言えます。

修身していない人は、「わかった気、わかったつもりになっている人」なのです。

「しゅうしんせいけあちこくへいてんか  
修身齊家治國平天下」

天下をおさめるには、まずは自分の身を修め、次に家庭を整え、次に国を治めそして天下を平和にすべし。中国の故事にあります。

理想を高く持つことはいい。しかし大切なことは、その人に

「**自分の身を修める**」

その意識があるか否か？

人は歳月とともに身体的年齢は嫌でも増えていきますが、心の成長は必ずしも歳月に比例しません。

自分の身に修めるということは、子どもから大人になることでもある。

つまり、依存から「自立への道」を歩むということです。

修身の意識を持って生きる。

比類ない喜び・感動は、必ずそこに見い出せます。